

## 2014 (平成 26) 年度 学会活動報告

- 2014年6月7日(土) 2名の報告者を迎えて、第8回例会を筑波大学東京キャンパスで開催する。
- (1) 吉田 俊弘 (大正大学教育開発推進センター)  
主権者教育の論じ方—理論と実践と政策のあいだで—
  - (2) 升野 伸子 (筑波大学付属中学校)  
教師の教材理解の方法、生徒の理解を深める発問
- 2014年10月1日(水) 「会報」第82号を発行する。
- 2014年12月6日(土) 中等社会科教育学会第33回研究大会を筑波大学文科系修士棟で開催する。
- 2015年3月31日(月) 中等社会科教育学会出版企画本を刊行する。
- 2015年3月31日(月) 『中等社会科教育研究』第34号を発行する。

## 2015 (平成 27) 年度 学会活動計画

- 2015年6月27日(土) 2名の報告者を迎えて、第9回例会を筑波大学教育研究棟で開催する。
- (1) 小野 智一 (東京福祉大学)  
公民科教育におけるグローバル・ガバナンス論の現在  
—ESD および公民科教育の課題—
  - (2) 小林 岳人 (千葉県立松戸国際高等学校)  
地図学習とオリエンテーリング
- 2015年9月2日(水) 「会報」第83号を発行する。
- 2015年11月22日(日) 中等社会科教育学会第34回研究大会を大正大学で開催する。
- 2015年3月31日(火) 『中等社会科教育研究』第35号を発行する。

## 事務局便り

### 1. 中等社会科教育学会会員執筆による本の刊行

21世紀型能力を育成する中等社会科授業実践の本が完成しました。この本は現在、第一線で活躍する中等社会科教育学会会員22名の教師により実践、構想されたものです。すべての授業実践に編著者による説明がついており、今後の社会科および地歴科公民科を先導する役割を果たす本となっております。

中等社会科教育学会の会員の方には2割引きで販売いたします。すでにAmazonや書店では売り切れとなっております。購買希望の方は学会HPをご覧ください、事務局までお知らせください。

『中等社会科 21世紀型の授業実践—中学校・高等学校の授業改善への提言—』

・編著者：井田仁康・伊藤純郎・唐木清志・栗原久・國原幸一朗・國分麻里・須賀忠芳

・学事出版、2015年 ・定価：2800 + 税

### 2. 中等社会科教育学会・授業実践研究部会の活動記録

第31回全国研究大会総会（2012年11月3日）において、出席者の賛同を得て、授業実践研究部会が発足いたしました。2015年度の当部会の活動について、下記の通り報告いたします。

#### ・第8回例会

期日 平成27年5月23日（土） 東洋大学 白山キャンパス

内容 ①研究実践発表

五十嵐 学氏（筑波大学附属高等学校）

「批判的思考「態度」の育成へ向けて—観光化された沖縄修学旅行の再考—」

②情報交換

河辺 智美氏（南房総市社会福祉協議会、NPO法人安房文化遺産フォーラム）

「NPO活動と社会科教育—NPO活動の体験を通して学んだこと—」

#### ・第9回例会

期日 平成27年8月22日（土） 明治大学 駿河台キャンパス

内容 ①講演会

原田謙介氏（NPO法人ユースクリエイイト代表）

「若者と政治をつなぐには何が必要か、その現状と課題 —NPOによる学生向けプログラムから学ぶ—」

②授業実践報告

黒崎洋介氏（神奈川県立湘南台高等学校）

「シティズンシップ教育の授業実践」

③意見交換 コーディネーター：藤井剛氏（明治大学）

#### ・第10回例会

期日 平成27年12月23日（水、祝） 東洋大学 白山キャンパス

内容 ①問題提起

「私ならこう授業する—副教材『私たちが拓く日本の未来』を読んで—」

西尾 理氏（東京都立国分寺高校）加藤 将氏（神奈川県立神奈川工業高校）小貫 篤氏（東京都立雪谷高校）

②意見交換 コーディネーター：栗原 久氏（東洋大学）

西尾氏・加藤氏・小貫氏の各提案者、並びに藤井 剛氏（明治大学、副教材作成協力者）

③グループワーク 「グループに分かれて『指導プラン』を作成してみよう」

当部会の開催告知については、主に、学会HP上で行います。会員の皆様には、当部会の趣旨を御理解いただき、当会企画の会合等に、積極的に御参加下さい。

### 3. 学会費納入のお願い

遅くなりましたが、2015年度の学会費振込用紙を同封いたしましたので会員の皆様の納入をお願いいたします。学会費は当学会の唯一の財源です。どうぞよろしくお願い申し上げます。会費未納の場合には、学会誌の送付を一時停止しますことを予めご了承ください。振込番号や名義、会費は以下のとおりです。

振替番号：00350-4-7442 名義：中等社会科教育学会 会費 3,000円

### 4. 住所変更のお願い

毎年、事務局からお送りした案内や連絡等が戻ってきます。住所変更などがありましたら、お早目に事務局宛にメールでお知らせください。

### 5. 新入会員の募集

中等社会科教育学会では、研究活動の推進と発展を図るために、新入会員を募集しております。次頁の入会申込用紙を複写して必要事項をご記入の上、事務局宛てにご送付ください。受領後、こちらからご連絡します。

【中等社会科教育学会事務局】

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学人間系社会科教育学研究室 中等社会科教育学会事務局 宛

Mail: chuushagaku@yahoo.co.jp

年 月 日申込

年 月 日受付

中等社会科教育学会入会申込書	
フリガナ	
氏名	
生年月日	
勤務先住所 勤務先  (職名)	〒  ( ) Tel ( ) E-mail
現住所 連絡先	〒  Tel ( ) E-mail
学会誌などの送付先	〒  Tel ( ) E-mail
最終学歴	
研究または関心を持っている課題	
*承認	年 月 日承認
【 備考 】	

\*印の欄は記入しないで下さい。

## 2014—2015年度 中等社会科教育学会役員

任期：2014年（平成26）年4月1日～2016年（平成28）年3月31日

会 長 江口 勇治

副会長 井田 仁康

事務局 唐木 清志 國分 麻里

学会誌編集委員（◎は委員長，○は事務局長）

◎井田 仁康	大野 新	鎌田 和宏	川崎 誠司	栗原 久
○須賀 忠芳(2014)	寺本 誠	丹治 達義	野口 剛	藤本 和哉
谷田部玲生	○中村 光貴(2015)	山口 泰宏		

評議員

渥美 利文	飯島 睦子	石本由布子	磯山 恭子	井門 正美
茨木 智志	大野 新	小野 智一	加藤 公明	熊田 禎介
栗原 久	今野日出晴	佐藤 秀樹	須賀 忠芳	杉浦 正和
田尻 信壹	高橋 健司	外池 智	中切 正人	松岡 尚敏
松崎 康弘	草間真智子	宮蘭 衛	森岡 孝文	山根 栄次
李 明熙	若生 剛			

理 事

井田 仁康	伊藤 純郎	江口 勇治	鎌田 和宏	唐木 清志
川崎 誠司	木村 勝彦	桐谷 正信	齋藤 慶子	佐藤 公
杉田 孝之	多田 知子	丹治 達義	寺本 誠	年友 彩
野口 剛	華井 裕隆	藤本 和哉	真柴 晶彦	三橋 浩志
谷田部玲生	山口 泰宏	山田 美保	山本 栄一	

学生幹事（筑波大学大学院教育研究科社会科コース院生）

荒貴 竜斗	久保田 亘	滝沢 康紀	羽賀 翠	福田 誠
石塚 諭	小泉 育	齋藤 琴音	和田 麦彦	

顧 問

横山十四男	篠原 昭雄	谷川 彰英
-------	-------	-------

### 【編集規定】

- (1) 本誌は中等社会科教育学会の機関誌である。
- (2) 本誌は年1回発行するものとする。
- (3) 本誌は本学会の会員の研究およびそれに資する情報の発表の場である。
- (4) 本誌の編集は本学会の編集委員会が担当する。
- (5) 本誌に掲載する原稿は、すべて編集委員会を経由しなければならない。
- (6) 本誌に掲載する原稿の採否は、レフリーの審査を経た後に委員会が決定する。
- (7) 本誌に掲載する原稿について、編集委員会は執筆者に内容の変更を要求できる。
- (8) 本誌に掲載することが編集委員会において決定した原稿・電子媒体（CD等）は返却しない。
- (9) 本誌に掲載する原稿の執筆者による校正は第1校までとする。その後の校正は編集委員会が行う。
- (10) 本誌に掲載された論文・記事等の抜刷は執筆者の希望によって作製するが、その作製費・輸送費はすべて執筆者が負担するものとする。
- (11) 本誌に掲載する原稿の図版等で、特別の経費を必要とするものについては、執筆者が負担するものとする。

### 【執筆要領】

- (1) この機関誌への投稿は、本学会の会員に限られる。非会員と連名での投稿の際は、非会員の場合は入会手続きを取らなければならない。ただし、編集委員会からの依頼原稿の場合は、この限りではない。
- (2) この機関誌への投稿原稿は、未発表のものに限られる。ただし、口頭で発表したものや私的に配布した印刷物の場合は、この限りではない。
- (3) 投稿は以下のものである。

研究論文	社会科教育の歴史・理論および海外の事例などについての研究 1,200字×17枚程度
実践論文	学校教育・社会教育などでの自らの社会科教育の実践をふまえた授業研究 1,200字×14枚程度
研究ノート	社会科教育の歴史・理論・事例研究や提言 1,200字×10枚程度
授業レポート	社会科の授業や展示の実践紹介 1,200字×3枚程度
社会科教育情報	社会科教育に関連した有益な情報の提供 1,200字×2枚程度
書評	社会科教育に関連した書籍の批評 1,200字×2枚程度
図書紹介	社会科教育に関連した書籍の紹介 400字程度

- (4) 投稿原稿の本文は必ず一太郎かWordを使って作成する。その際にA4判で横書き、40字×30行でページ設定する。手書き原稿は受理しない。
- (5) 投稿原稿は完全成稿とし、打ち出し原稿には図表も貼付する。また、必ず英文タイトルも付ける。
- (6) 投稿の際は、打ち出し原稿3部を編集委員会宛に送付する。掲載が決定した場合は、電子媒体（CD等）でデータを提出する。
- (7) 投稿の際には、必ず執筆者の名前・よみがな・所属（職名その他をふくむ）・連絡先（郵便番号・住所・電話番号・電子アドレス）を明記する。
- (8) 投稿のあて先は以下の通りである。

〒112-0012 東京都文京区大塚1-9-1 筑波大学附属高等学校

中村 光貴 メールアドレス：mnakamur@high-s.tsukuba.ac.jp

- (9) 投稿を希望する者は、投稿者氏名及び所属、タイトル（仮題可）、連絡先（電話／メールアドレス）を、7月末日までに上記あて先まで事前に連絡をする。
- (10) 投稿の提出締め切りは、9月15日とする。

## 編集後記

『中等社会科教育研究』第34号をお届けします。会員の皆様には、多くの論稿を投稿していただきありがとうございました。ご意向にそえず、残念ながら掲載にいたらなかったものもございます。これにこりず今後とも投稿のほどよろしく願います。

本号はおかげさまで、第33回研究大会でのシンポに関する特集の論稿が4本、研究論文3本、実践に基づいた論稿である実践論文3本、研究ノート1本、授業実践1本そして社会科教育情報が1本と充実した内容となっており、中等社会科教育学会の性格がより一層強く反映した構成となりました。これも会員の皆様の研究に対する熱い情熱の賜物と思っております。今後とも、多くの投稿をよろしく願います。シンポの論稿をはじめ、研究論文、実践論文、研究ノート、授業実践も厳格な査読をした論稿であり、会員皆様の重要な業績、研究の証となっています。査読者とも何回かのやりとりをしながら、よりよい論稿になったのではないかと思います。査読していただき、貴重なコメントをいただいた先生方、根気強く修正に応じていただいた執筆者の皆様にあらためて感謝いたします。このような根気のいる査読制度は、個人の研究能力を高めるだけでなく、学会全体の研究レベルを上げるうえでも、大変貴重です。これにこりず、今後ともよろしく願います。

一方で、どのように書けば「論文」となるのか、困惑されている会員もおられるように推測します。前号の編集後記でも指摘しましたが、学会でいうところの「研究」と教育現場で使われる「研究」という用語に齟齬があるようにも感じられ、それが「論文」の概念にも関連し、「論文」についての捉え方の違いになってきているのではないかと思います。

本号の編集事務は、筑波大学附属高等学校の中村光貴先生に担当していただきました。執筆者と査読者との間にはいりご苦労されただけでなく、入稿、発送作業など様々な編集にかかわる事務をこなしていただきました。厚く御礼申し上げます。会員の皆様にも、そのことを是非ご理解していただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

『中等社会科教育研究』は、今後とも皆様の研究成果を迅速に発表できる場にしたいと考えております。会員皆様のご理解とご協力をよろしく願います。

(井田仁康)

## 編集委員会

委員長	井田 仁康 (筑波大学)
委員	大野 新 (筑波大学附属駒場中・高等学校)
	鎌田 和宏 (帝京大学)
	川崎 誠司 (東京学芸大学)
	栗原 久 (東洋大学)
	須賀 忠芳 (東洋大学)
	寺本 誠 (お茶の水女子大学附属中学校)
	丹治 達義 (筑波大学附属視覚特別支援学校)
	中村 光貴 (筑波大学附属高等学校)
	野口 剛 (帝京大学)
	藤本 和哉 (筑波大学附属高等学校)
	谷田部玲生 (桐蔭横浜大学)
	山口 泰宏 (筑波大学附属中学校)